

力動的セラピストになるために File. 4

— 現代の思春期・青年期のころをめぐって：

セラピー関係を深く理解するために—

時代や社会情勢は刻々と変化していきます。社会の中に生きる私たちも、その影響を多かれ少なかれ受けて生活しています。思春期・青年期は、その時々時代の背景や社会を色濃く反映すると言われてきました。この時期はアイデンティティの模索の時代です。ですが昨今の臨床での現状を考えれば、私たちが会えるクライアントの症状や苦悩は、アイデンティティというテーマ以前の、より早期で原始的な領域での病理性と深く関連する場合があります。では、思春期・青年期の心性は時代とともに変化してきているのでしょうか？ それとも変わらないのでしょうか？

われわれ臨床家は、時代の変化に伴うパーソナリティのあり方の変遷を踏まえつつも、今も昔も変わらずあり続ける側面にも注意を向ける必要があるでしょう。そして、心理療法を実践する上では、われわれ臨床家自身の思春期心性もまた考えていく必要があるでしょう。今回は、ロンドンのタヴィストック・センター思春期青年期部門に留学して戻られた飛谷渉先生をお招きいたします。精神分析的な視点は、幅広くも鋭く臨床を捉える視点と、心理療法におけるセラピスト-クライアント関係の細やかな理解を提供してくれるでしょう。

■講師の先生のご紹介： 飛谷渉 先生

大阪市立大学医学部卒業後、同大学院博士課程にて医学博士を取得。以後、大阪市立大学神経精神医学教室助手を経て、2004年～2008年ロンドン・タヴィストック・センター思春期青年期部門留学。思春期青年期臨床課程修了。同時期にクライン派精神分析家に師事し精神分析を学ぶ。ロンドン芸術大学(University of Art London)にて学生メンタルヘルス・コンサルタントとして勤務。帰国後の現在は、大阪教育大学保健センター准教授。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。訳書に『精神分析過程』(金剛出版 2010)と『新釈 メラニー・クライン』(岩崎学術出版社 2014)がある。

■司会：北川清一郎(心理オフィスK)・吉沢伸一(ファミリーメンタルクリニックまつたに)

■日程：平成28年2月28日(日)

13時00分～14時50分 第1部：講義

15時00分～16時50分 第2部：事例検討

■会場：横浜市篠原地区センター 3階 中会議室(会場がこちらに変更となりました)

〒222-0022 横浜市港北区篠原東 2-15-27

東急東横線 妙蓮寺駅から徒歩およそ10分

■参加資格：臨床心理士や医師等の守秘義務をもつ専門家、臨床心理系大学院生等。力動的臨床を実践しようと思っている/実践しはじめたばかりの初心の方から、既に経験を積んでおられる方々まで幅広い経験の方が研鑽できる内容となっております。

■費用：6,000円(修士課程の大学院生は5,000円) ■定員：40名程度(先着順です)

■申込方法：(1)名前(2)所属(3)メールアドレス(4)臨床心理士資格の有無、を明記して、以下までご連絡ください。銀行口座をお知らせしますので、振込をしてください。振込を確認できた時点で申込確定となります。

■申し込み先：北川清一郎 宛 info@yokopsy.com

■主催：横浜精神分析研究会 <http://yokopsy.com>

■後援：心理オフィスK <http://s-office-k.com>